

ジョアンナ (1968)

JOANNA

メディア 映画
ジャンル ミュージカル ドラマ
製作国 イギリス
色彩 Color
時間 115分
初公開日 1969/04/26
公開情報 FOX
リバイバル 1993/08/19 [ヘラルド]

【解説】

ヒロインのジョアンナ嬢（ウエイト）は、ロンドンのお祖母さんの家に下宿しながら美術学校に通い始める。早速、先生のキャストと仲良くなる彼女は、自由を満喫するロンドンの気風に慣れるのも早く、お祖母さんのもとを飛び出し、出会った黒人少女バリルの奔放な生き方に触発され、眠りたい所で眠り、流行の服は万引きで調達、お金持ちのオジサマを適当にあしらって生活費を稼ぐ気ままな暮らし……。でも、どこか満たされない。そんな時、不治の病を抱えた青年貴族ピーター（サザーランド）と出会い、招かれてモロッコのバカンス。夕陽を眺めながら語る彼の言葉が胸に染みた。“生きている間に人生を愛し、人を幸福にしてあげたい”。彼女をロンドンに帰してしばらく、彼は逝った。そしてバリルの兄ゴードン（ロックハート）と恋に落ちたジョアンナ。ギャングとのいざこざで人を殺めた彼との逃避行の間、ピーターの言葉を噛みしめる彼女。妊娠し、恋人を捕らえられてもへいちゃら。明日を信じて、大好きな町を去ろう……。全編セミ・ミュージカル仕立てだが、素晴らしいR・マッキューンのスコアはみな後でつけられたもの。本作と「マイラ」の客演だけで映画界を去ったG・ウエイトのコケットリーは逸品。

【クレジット】

監督	マイケル・サーン	Michael Sarne
製作	マイケル・S・ローリン	Michael S. Laughlin
脚本	マイケル・サーン	Michael Sarne
撮影	ウォルター・ラサリー	Walter Lassally
音楽	ロッド・マッキューン	Rod McKuen
出演	ジュヌヴィエーヴ・ウエイト	Genevieve Waite
	カルヴィン・ロックハート	Calvin Lockhart
	クリスチャン・ドーマー	
	グレンナ・フォスター＝ジョーンズ	Glenna Forster-Jones
	ドナルド・サザーランド	Donald Sutherland
	フィオナ・ルイス	Fiona Lewis